



平和を願う「桐生『織づる』」の贈呈について

市内の女子生徒の発案により、両翼端長1.20mにおよぶ、桐生織による大きな「織づる」が誕生しました。デザインには世界で唯一、鳴神山系にのみ自生する「カッコソウ」が全面にあしらわれ、ユニークな「桐生らしさ」が演出されています。

平和への想いを広く届けるために、計3羽の「織づる」がこの度、桐生市に贈呈されることになりました。

■日 時 令和3年7月5日（月）16：30～

■場 所 桐生市役所 3階 特別応接室

■寄贈者 桐生市遺族会

■協力者 市内女子中学生、森秀織物株式会社、永島表具店

■内 容 広島市の平和記念公園にいまも全国から寄せられる「千羽鶴」の逸話に心を打たれた、市内小学校に通う6年生の女生徒（現中学1年生）は、「桐生らしいなにか」で平和への想いを届けたい、と強く願い、古くからの伝統技術を活かした桐生織を用いた折り鶴、『織づる』という、新しいアイデアを思いつきました。

その実現に向けて、桐生市遺族会が各方面への呼び掛けを行い、「森秀織物株式会社」（東4丁目）が見事な桐生織の生地制作を、「永島表具店」（浜松町1丁目）が美しい折り目を実現させるための特殊な糊加工を、それぞれの分野における高い技術力を結集させて、織物としては「国内最大級」のサイズとなる「織づる」をこの度、誕生させました。

世界で唯一、鳴神山系にのみ自生する「カッコソウ」柄を全面にあしらったユニークなその演出も、「桐生らしさ」を、という願いをより際立たせる注目のポイントです。

「想いを込めたこの「織づる」3羽を、例年10月に開催する『桐生市戦没者追悼式典』等に展示をし、遺族や参列者のみならず、広く皆さんにとっての平和の尊さ、を感じていただくことへの一助としてもらいたい。」と切望する、桐生市遺族会の想いを受けて、今回の贈呈となりました。

3 すべての人に
健康と福祉を



16 平和と公正を
すべての人に



【問い合わせ】

保健福祉部福祉課社会福祉係

担当 吉田 渡邊

TEL 0277-46-1111（内線271）